



横尾小学校便り

みがけ心 きたえ体（のばせ力）

横尾っ子だよ！



令和7年度 第12号 R07.07.11（金）

みんなが行きたい学校づくり

＝学校は子供の行きたい場所でありたい＝

文責 校長 河野 正勝

長崎外国語大学との交流（6年）①

7/2（水）外大生によるSDGsに関する授業を6年生を対象に行っていただきました。

「フェアトレード」に関する内容が中心です。「フェアトレードとは何か」ということから「フェアトレードの商品にはどんなものがあるか」「フェアトレードの商品を買うことで、生産者にどれだけの利益があるか」ということに加え、生産者の国の子供たちの中には、「毎日ごはんを食べることができる」「学校に行くことができる」など、私たちにとっては当たり前の生活ができない人たちがいることも学びました。

グループワークも取り入れていただき、その中に外大生も入って一緒に話していただくなど、子供たちにはいい経験になりました。

「フェアトレード」という言葉を初めて聞いた子供も多く、外大生の話を興味深く聞く様子が見られました。フェアトレードに関することはもちろん、その商品に対する意識も高まりました。

近隣の大学生による授業は、内容はもちろん、大学という学びの場にも関心をもつたいへんよい機会になりました。



長崎外国語大学との交流（6年）②

7/3（木）今度は、6年生が長崎外国語大学まで足を運び、留学生と交流を行いました。

今年もたいへん立派な講堂で交流をさせていただきました。最高のステージです。少々緊張をしながらも、スライドを使って留学生に向けて次のことについて発表しました。学校生活、スポーツ、文化、遊び、食べ物、名所です。6つの班に

分かれて、英語も用いながら発表を進めました。一つの班の発表が終わるごとに、留学生が質問をするなど、少しずつ6年生と留学生の距離が縮まっていきました。発表で用いた画像や抑揚を付けた話しぶりもすばらしく、留学生の方々もしっかりと発表を聞いてくださいました。

発表が終わると、留学生の方にそれぞれの班に入っていただき、各班でフリートークを行いました。短い時間でしたが、時間がたつとともに会話も弾んでいました。

お礼の挨拶や記念写真撮影をした後は、担当の職員の方に大学内を案内していただきました。

構内のつくりが船をイメージしたものであることを教えていただいたり、授業風景を見たりして、大学の雰囲気を味わうことができました。図書館ではその冊数の多さに驚いたり、実際に手に取って読ませていただいたりと、子供たちも大喜びでした。最後は、食堂まで連れて行っていただいて、大満足の子供たちでした。

2日間にわたって外国語大学の学生の方々と交流ができ、6年生にとってたいへん貴重な学びとなりました。外国語大学の関係者の皆様に感謝いたします。今後もこのような交流を継続させていただきたいと思います。

